

競技注意事項

今後、競技運営および安全確保に支障をきたす不可抗力事態が発生した場合や発生する恐れがある場合は必要に応じて大会中止とする。中止となる場合は、当大会ページ等で告知する。

1 競技規則について

本大会は、2023年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則・WA競技規則ならびに大会要項及び申し合わせ事項により実施する。本大会要項により参加するパラ競技者についても競技規則の適応は同様とする。ただし障がいの特性により特別な配慮がされる場合は、2022-2023World Para Athletics (WPA) 競技規則による。

2 練習について

(1) 練習は指定された練習場で係員の指示により行うこと。

会場	7月14日(金)	7月15日(土)	7月16日(日)
本競技場 (デンカビッグスワンスタジアム)	使用不可	7:30~9:00 競技終了後30分使用可能	7:00~9:00
補助競技場 (デンカスワンフィールド)	13:00~16:00トラックのみ 参加選手のみ	7:00~18:00 一部制限あり	8:00~18:00 一部制限あり
屋内練習場	13:00~17:00 参加選手のみ	8:00~19:00	8:00~19:00

(2) レーンの使用は下表のとおりとする。

レーン(本競技場/補助競技場)	短距離	中長距離周回	ハードル	リレー
H&B:1・2/H&B:1・2		○		
H:3~7/H:3~6	○			
B:3~7/B:3~6				○
H&B:8・9/H&B:7・8			○	

H:ホームストレート B:バックストレート

*補助競技場では投てき競技に合わせて使用レーンの制限される時間がある。

(3) 屋内練習場は走練習のみ使用できる。(砂場の使用不可)

天候により、屋内練習場にハードルを設置する場合がある。

(4) 投てき練習は、砲丸投げを除き禁止する。やり投げ・円盤投・ハンマー投は助走やターン練習のみとする。

(5) ミニハードルやメディスンボールなどの練習器具を持ち込んでの練習を禁止する。(リレーのバトンを除く)

3 招集について

(1) 招集所は、メイン競技場100mスタート側(第4ゲート側)に設ける。

出場者は補助競技場および室内走路から連絡通路を通り、招集所で点呼を受けること。

(2) 種目別招集開始・完了時刻は、競技日程を参照のこと。

(3) 招集方法については、次の通りとする。

①競技者は招集開始時刻前に招集所で待機し、競技役員から点呼を受ける。その際、アスリートビブス、ユニフォーム、競技用スパイク及びシャツ・バック等の商標についての点検を受けること。

②競技者は競技役員の指示に従って入退場すること。

③リレーに出場するチームは所定の「リレーオーダー用紙」(TICに置いてある)に記入し、第4ゲート側招集所に提出する。

8:00より受け付け、締切時刻は招集完了時刻の1時間前とする。

④招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものと見なす。

⑤招集は必ず本人が行うこと。ただし、多種目同時出場により招集を受けることが難しい場合、第1種目の競技招集開始前に「多種目出場届」をTICで受け取り、招集所に提出すること。

4 アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスは主催者が配布したものを使用し、配布された大きさのままユニフォームに結着すること。

(2) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識を競技者係より受け取り、右腰のやや後方に取り付ける。

(3) 跳躍競技出場する競技者アスリートビブスは背部または胸部のみでもよい。

5 ユニフォームおよび携行品の商標について

日本陸上競技連盟制定の「競技会における広告および展示物に関する規程」に従うこと。

規程に抵触している場合は、是正を求めらるるので従うこと。

6 競技用シューズ・用器具について

(1) 競技者が使用するシューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)についてはWAテクニカルルールTR5を適用する。

※詳細は日本陸連HP参照: <https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>

(2) フィールド種目で助走路に使用するマーカーは、主催者が用意したものを2個まで使用することができる。

ただし、サークルから行う投てき競技については1個とする。

7 競技について

(1) 不正スタートについて

一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。

(2) レーン競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。

(3) リレー競走においてマーカーを使用する場合、各チームで準備し、使用後の除去についてもそのチームが必ず行うこと。

(4) フィールド競技の試技時間は、制限時間告知器で表示して、黄色旗で残り15秒を知らせる。

(5) 競技に使用する用器具は主催者が用意したものを使用しなければならない。

棒高跳用ポールは各自持参のものを使用する。

投てき用具の持ち込みを希望する者は、8:00～各競技開始1時間前までに用器具検査場(TIC近く)にて検定を受けること。

投てき用具検定はその日実施の種目を対象とし、持ち込みは1人2つまでとする。

検定に合格した用具は一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。返却は競技役員の指示に従うこと。

- (6) フィールド競技における練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- (7) 競技中における助力は「日本陸上競技連盟競技規則第6条TR6」に従い規制される。これに抵触の場合は、審判長から注意・勧告をするが、是正されない場合はその種目から除外される場合がある。
- (8) 棒高跳に出場する競技者は、支柱移動について現地競技役員に口頭で申告すること。
- (9) 三段跳 踏切版は砂場から男子 12m、女子 9mとする。
- (10) デブ選手に対しては光刺激スタートシステムが使用できる。また、情報保障の配慮から手話通訳士が同行できる。
光刺激スタートシステムの仕様詳細については下記の通りとする。
①「オンユアマークス」・・・赤、「セット」・・・黄、「号砲」・・・白(点滅)とする。
②競技者は、システムの使用・不使用を選択することができる。(不使用の場合は、システムをレーンナンバーの後方へ移動する。)
③システムが正常に動作しなかった場合は、直ちにピストルを鳴らしレースを中断させる。
その後システムの故障、不具合により使用の継続ができない場合は、そのレースより使用を禁止し、従来通りの(目視)スタートへ変更する。ただし、システムが復旧した場合は 再使用する。
- (11) 走幅跳、三段跳及び投てき種目の公式練習は原則2回とし、全て競技役員の指示に従う。

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について(天候等の状況により変更する場合もある。)

		練習	バーの上げ方	
走高跳	男子	1m75/1m90/2m10	1m80-85-90-95-98-2m01 以降2cm	
	女子	1m35/1m55	1m40-45-50-53-56-59-61-64-67 以降2cm	
棒高跳	男子	3m90/4m80	4m00	以降10cm
	女子	2m40/2m90	2m50	以降10cm
混成 走高跳 女子		1m20/1m40	1m25	以降5cm

* ただし、状況によっては審判長の判断によりバーの上げ方を変更する場合がある。

* 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

9 番組編成・欠場届について

(1) 当大会のトラック種目については、原則予選・決勝を行う。予選は申込資格記録による事前番組編成とする。

※1.参加人数によって、決勝のみの場合やA～C決勝を設定

(2) 欠場届について

本大会申込完了後に欠場する競技者は、本大会規定の「欠場届」を提出する。(メールまたはTIC)

【欠場届の提出方法について】

①7/14(金)までに届ける場合はメールにて受け付ける。

※1.指定のメールアドレス(shikimoto@albirex-rc.com)宛に「欠場届」を添付して提出する。

※2.メールタイトルを、【欠場届_チーム名称_連絡責任者氏名】とすること。

②大会期間中については、TICに提出すること。(来場できない場合のみメールにて受け付ける)

③提出日時は、大会申込後から大会当日の各種目競技招集完了前までとする。

(3) 記録・次ラウンドの番組編成はその都度大型ビジョンおよび速報ページ(URLは下記に記載)にて発表する。

10 入場管理及び迷惑撮影防止について

本大会は入場無料により不特定多数の来場が予想される為、主催者規定に基づき、全来場者の入場管理を実施いたします。

来場時を含む下記場面において『テレサ-体温記録活用アプリ-』を用いるので、選手・チーム関係者並びに観客等、全来場者は、にアプリに登録いただき、安心安全な競技運営にご協力をお願いいたします。

(1) 選手・チーム関係者受付及びADカード発行

(2) 撮影許可証発行:アプリでの申請並びに身分証明書提示により発行する。

(3) 観戦者入場管理:スタンドに入場する全来場者は必ず登録すること。

(4) 競技注意事項、スタートリスト・その他の案内については、テレサにて通知する。

下記URLより大会2週間前から7/14(金)12:00までにアプリの登録を行うこと。

【iPhone用】 <https://apple.co/2Eqnhlo>



【Android用】 <https://bit.ly/2FR4kAm>



11 ドーピングコントロールテストについて

本競技会はWPA公認での開催であるため、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会として実施される。

12 表彰について

(1) 各種目の1～3位まで表彰対象とする。競技終了後メインスタンドロビーにて賞状を受取ること。

13 本大会は第71回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会の予選会として追加する。【大会要項参照】

14 その他

(1) 更衣室は室内練習場内のテント及びホームスタンド1階に設置する(別紙参照)。更衣室は更衣のみに使用すること。

(2) 競技場内を移動する場合、選手はAD及びリストバンドを必ず着用すること。

(3) スタンド最前列手すりには、応援旗・部旗・横幕・のぼり等を取り付けないこと。その他の場所については観戦・競技進行等の妨げにならない範囲で認める。ただし、主催者により移動や撤去をお願いする場合がある。

(4) スパイクシューズを履いたまま競技場施設(スタンド等)には入らないこと。

- (5) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室で処置を受けることができる。
- (6) 競技会中の傷害などの応急処置は主催者で行うが、その後の処置については、本大会で加入している傷害保険の範囲内とする。
- (7) 記録証明書を希望する競技者は、TICにある「記録証発行申請書」に必要事項を記入し、500円(送料含む)を添えて申し込むこと。
- (8) 競技場および補助競技場は7:00開場予定。開場前の場所取りや並ぶ事も禁止する。
 本競技場における選手待機場所はスタンド1層コンコースと補助競技場の許可された場所とする。
 トイレ前や非常口、車イス優先観戦場所等は禁止とする。詳細は別紙を確認すること。
 主催者により移動や撤去をお願いする場合がある。
 本競技場 Nスタンドコンコースは本大会出場選手の専用待機場所とする。(その他の場所は同時開催の新潟県選手権出場者と共用)
 補助競技場の投てきゲージ後方に設置するテントは投てき種目のコーチングエリアとし、場所取りを禁止する。
 補助競技場からの地下通路や地下通路周辺および室内走路での場所取りを禁止する。
- (9) TIC開設時間は8:00～18:30とし、招集所近くに設置する。これ以外の時間については大会総務に問い合わせること。
- (10) 貴重品類は各自で保管すること。万一紛失・盗難にあっても主催者は責任を負わない。
- (11) バックスタンドコンコースにトレーナーステーション(医科学ブース)を設置する。
- (12) 提出書類等については下記の通り行う。(各用紙はTICで配布する)

	提出書類	提出先	提出時間
1	欠場届	当競技注意事項の「9 番組編成・欠場届について」の「(2)欠場届について」参照	
2	多種目同時出場届	競技者係(招集所)	第1種目の招集開時刻まで

- (13) ごみは全て持ち帰ること。(留め置きをしない。)
- (14) 初日終了後、道具の留め置きは補助競技場から室内走路までの地下通路および補助競技場器具庫とする。
 ただし、各自の責任のもと管理すること。また、壁に沿って置き、通路を確保し、出入りの邪魔にならないよう留め置くこと。
- (15) 撮影については、撮影許可証もしくはAD携帯時のみ可とする。
- (16) 大会関係者が撮影した、写真・ビデオは主催者の一般社団法人日本実業団陸上競技連合ならびに北陸実業団陸上競技連盟、一般財団法人新潟陸上競技協会に使用権限があり、SNSなど情報発信に使用することがあります。予めご了承ください。

14 医療機関

新潟市民病院 新潟市中央区鐘木463-7 TEL 025-281-5151

15 大会競技結果

【実業団PCG in NIIGATA】

<https://nrkk.net/eventresult/2023PCG/shtml/TimeTable.html>



【新潟県選手権大会】

<https://nrkk.net/eventresult/2023Kensen/shtml/TimeTable.html>

